

# 北朝鮮が核実験

# 国連の制裁決議無視

## 3年ぶり「成功」と国営通信



【平壤、ソウル25日共

同】北朝鮮は二十五日、国営朝鮮中央通信を通じて、二〇〇六年十月九日に続き二回目の地下核実験を行い、「成功」した

と発表した。実験場所は前回と同じ北東部とみられるが、核爆弾の個数、規模は不明。韓国の李東官大統領報道官は二十五日、北東部の咸鏡北道吉

州郡で同日午前九時五十分ごろ、地震波が観測されたと発表。李明博韓国大統領は同日午後、国家安全保障会議を開く予定。

米地質調査所（USGS）によると、地震が感知されたのは北朝鮮・清津の南西約一〇〇キロで、地震の規模はマグニチュード（M）4.7。震源の深さは一〇キロ。

追加的な核実験をしないよう求めた国連安全保障理事会の制裁決議を無視した行動で、制裁の強化・拡大により北朝鮮包圍網づくりが進むのは確

実。また、北朝鮮は今年四月五日、国際社会の反発を押し切って「人工衛星」として長距離弾道ミ

サイル発射に踏み切ったばかりで、朝鮮半島をめぐる緊張が一層高まるのは必至だ。

北朝鮮は兵器開発に不可欠な実証データを収集、「核保有国」として

の立場を既成事実化し、日米の圧力に対抗する狙

いとみられる。前回は爆発規模が一口未満と小さく、失敗に終わったと

みられている。

さらに、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

脱と核開発の再開を宣言した。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

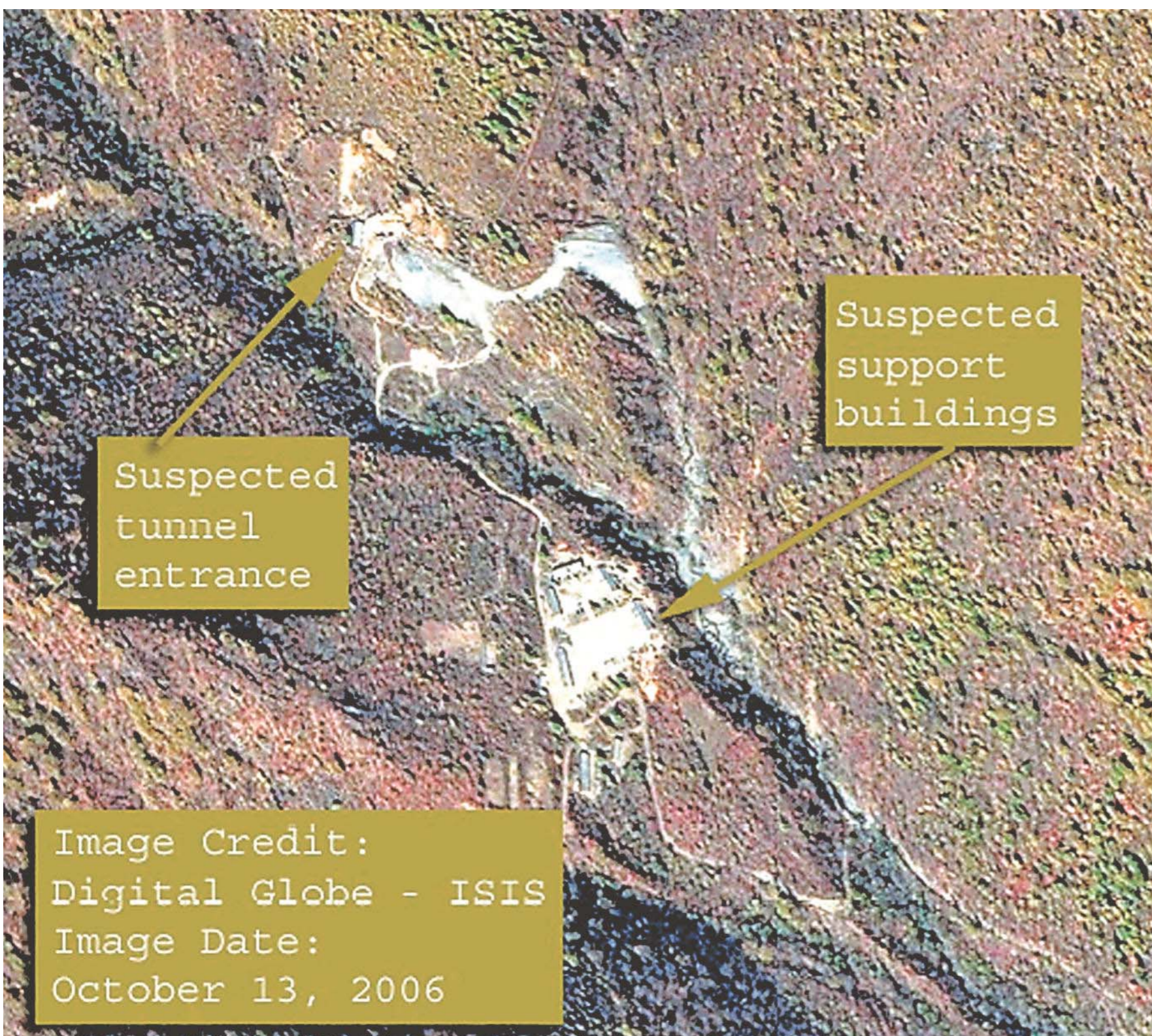
さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。

さらには、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措置を講じる」と警告していた。



2006年10月に米デジタルグローブ社が撮影した、北朝鮮の地下核実験場の可能性がある豊溪里周辺の衛星写真

(ロイター=共同)